



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 413

Dezember

2025

特定非営利活動法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20

神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

TEL/FAX 078-230-8150

E-mail: info@jdg-kobe.org

URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

Guten Rutsch ins neue Jahr !

会長 栢田 義一

本年も残り2週間余りとなりました。本年も政治的不安定やSNSなどによるメディアの変容による社会生活の諸変化、長期にわたる円安、恒常的な諸物価の高騰、特に夏の異常な猛暑、局地的な豪雨、ゲリラ雷雨、各地での地震の多発など、政治・経済・社会・自然環境上多くの問題が生じ、昨年と同じく混迷の一年でした。大阪万国博覧会が開催され、関西圏には多くの海外来訪者が訪れました。それと同時に海外観光客による諸問題も生じています。海外からの関西圏来訪が一過性ではなく、彼らとの友好的共存の道が発展することを願っています。

世界的にもウクライナ戦争の長期化、イスラエルとその周辺国での紛争の激化、ポピュリズムの拡大と急進右派政党の台頭、トランプアメリカ大統領による関税問題等の専横的政策、温暖化による異常気象等々相変わらず大きな昏迷状態に陥っています。

このような国内外の「混迷状態」を正しく理解し、解決の展望を持つために、10月にはドイツ統一35周年ドイツ時事特別講演会「混迷の時代を乗り切るには」を開催しました。今後ともドイツ及びヨーロッパからの最新情報の受信、更に在神ドイツ人との交流により情報交換に努めていきます。

このような国際情勢の中では国際理解と国際交流の大事さがますます増えています。

神戸日独協会は、このような時こそ日独交流を一層深める活動を活発に行い、日独親善及び国際親善に一層努めたいと思います。会員皆様の一層のご協力をお願いいたします。

本年は、ビアフェスト、ワインイベント、クリスマス祝賀会等の恒例行事を行うことができました。これら諸行事の企画・準備にご尽力をいただきました会員の皆様と事務員の方々にお礼を申し上げます。そして何よりもご参加いただいた会員の皆様に心から感謝いたします。

12月25日にて本年の活動を終了しますが、明年も協会活動に引き続きご協力をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

会員皆様が幸多き新年をお迎えになられることをお祈りいたします。

Guten Rutsch ins neue Jahr ! 良いお年を

ドイツ語講座2025年度第Ⅳ期開講

1月8日(木)からドイツ語講座の2025年度第Ⅳ期を開講します。

国際交流活動は活発化が見られ、国際交流も多様化しています。ドイツ及びドイツ語圏との多様な交流の基盤となるのはドイツ語です。この機会をドイツ語の学習はじめ、ブラッシュアップ、学び直しの好機ととらえませんか。

新規開講クラス

2021年より2024年まで20数回にわたり **会員の広場** に「Jena便り」を投稿してくださった竹中ららさんが帰国しました。竹中さんはイエナ大学大学院で外国語としてのドイツ語(DaF)、第二言語としてのドイツ語(DaZ)の最新の教授法を学び、現地大学主催の講習会でのドイツ語講師や現地小学校でのドイツ語専科教諭などを歴任されてきました。ドイツでのドイツ語教授の経験を弊協会ドイツ語講座でも生かしていただきたく、講師をお願いしました。

竹中さんは舞鶴在住のため、Zoomによるオンライン授業となります。

ご担当の授業内容は以下です：

会話と作文のクラス(初級)

この講座では、意味のあるインプットとアウトプットを基礎に、言語構造にも着目した練習を加え、よどみない会話と作文ができる力を養うことを目的としています。学習者の言語使用状況に応じた語彙カードやミニダイアログ使用します。

会話と作文のクラス(初期中級)

この講座では、会話のコロケーションやモデルを用いて、ドイツ語の基礎的な表現が自動的に出るようになるトレーニングをします。ドイツ語で SNS 発信、メール、手紙を書く練習もします。ドイツ語圏の小話や写真も用意しています。

※いずれの講座も、オンライン上で教材を共有し、学習者同士の交流もできるプラットフォームを使用します。プラットフォームでは、パスワード付きで、無料で書き込みや写真、文章を保存できる便利なサイトを使用されるとのこと。

今までのドイツ語講座では行っていない「会話と作文」のクラスですので、奮ってご受講ください。

開講授業の詳細については、同封のパンフレットをご覧くださいか、協会へお問い合わせください。

ドイツ語講座の多くのクラスは前期からの継続クラスですが、途中からの受講は可能です。

今年の冬は、駅からも近い教室でドイツ語講座に参加しませんか。ご参加をお待ちしています。

ドイツ語特別講座

「歌う人のためのドイツ語 ―発音・発声・フレージング」

外国語で歌を歌うには、まず正しい発音と発声で歌詞を発語できるようにするのが一般的です。その後、歌いながらさらに発音と発声を修正します。しかし経験上、多くの人は、実際の問題点がどこにあるのかをそもそも聞き取れておらず、十分な知識も持っていないことがわかります。神戸日独協会の特別講座は、インターネットやソーシャルネットワークで通常得られる情報よりも、ドイツの言語と文化についてより深く理解することを目的として、さまざまな分野の学習を幅広く行っています。本協会には歌に興味を持つ会員が多く、定期的に一緒に歌っている会員もいるため、「ドイツ語と音楽」を特別講座のテーマとして繰り返し取り上げてきました。今回は「ドイツ語と音楽・ドイツリートとオペラの旋律」というテーマでしたが、今回は「発音・発声とフレージング」に焦点を当てます。

主なテーマは次の通りです。

1. リスニング練習
2. 発音と発声におけるよくある間違い
3. スピーチと歌におけるフレージング
4. 時代による歌唱の変遷―作曲家の工夫

この講座は、歌手の方だけでなくドイツ語と歌に興味のあるすべての方を対象としています。そのため、「歌わない人」も大歓迎です。

講 師：シュテファン・トゥルンマー＝フカダ氏（神戸日独協会常務理事）

学術博士。元神戸大学教授。現在も神戸大学、関西学院大学にて講義を担当。

日 時：2026年1月10日（土）（10:30～12:00…昼休憩…13:00～14:30）

場 所：神戸日独協会

参加費：会員2000円、一般2500円

定 員：15名

※ 切：1月8日（木）※先着順・事前予約制

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150（月～金14～17:00）
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

行事報告

2025年度クリスマス祝賀会開催

神戸日独協会の重要活動の一つである2025年度クリスマス祝賀会が、12月6日（土）17時より神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールで開催されました。会員の方々やそのご家族、ご友人など50名の出席を賜り、盛大かつ楽しく祝賀会を執り行いました。

祝賀会は3部形式で行われました。12月6日は「聖ニコラウスの祝日(Nikolaustag)」にあたりますので、まず第1部としてオーストリアご出身の協会常務理事であるシュテファン・トゥルンマー＝フカダさんに「聖ニコラウスの日」の成り立ち、ヨーロッパ各地でお祝いの仕方、聖ニコラウスに同行する怪物クランプスにまつわるお話を写真を交えてしていただきました。最後にはスクリーン裏からクランプス姿での突然の出現に会場が大きく湧き、これまで我々の殆ど知らなかった「もう一つのクリスマス」について有意義で楽しいお話でした。トゥルンマーさん、ありがとうございました。

第2部の祝宴は枡田会長の司会進行で会長の開会挨拶、ドイツ総領事館のデニーゼ・ヘンゼル首席領事の来賓挨拶があり、彼女による乾杯の音頭で全員で乾杯、そして美味しい料理タイムが始まりました。出席者は料理を堪能し、会話も弾み楽しい時間を共有しました。

祝宴の途中から第3部のアトラクションが始まりました。まずはスライドによるこの一年間の主要活動の報告と会員各サークルの活動とドイツ語各クラスの紹介が行われました。そのあとに「ドイツ歌声サロン」のメンバーを中心に参加者によるクリスマスソング大合唱と続き、有志の方々からご寄付いただいた景品の抽選会と続き、最後は出席者全員の記念写真。約3時間に及ぶ祝賀会が終了し、参加者はニコラウスからのクリスマスプレゼントを手に帰宅しました。

準備に携わった関係者の皆さま、プレゼントをご用意くださった皆様にお礼を申し上げます。

関西チェコ/スロバキア協会との交流会

関西チェコ/スロバキア協会との交流会が12月13日(土)15時より大阪大学スチューデント・コモンズ2Fセミナー室で開催されました。関西チェコ/スロバキア協会例会である「チェコ/スロバキア知遊サロンNo.72例会」に参加させていただき、弊協会からは8名が参加しました。

交流会ではまずは枡田会長による協会の歩みを辿りながらの主要活動とその特徴の説明がありました。続いて関西チェコ/スロバキア協会三谷研爾会長より「関西チェコ/スロバキア協会の歩みと私たち」についての説明がありました。それによると当初は日本チェコスロバキア協会関西支部として設立され、チェコ語講座、チェコスロバキアからの来訪者との交流等が行われたとのこと。設立当初は弊協会と同様の活動が行われたようですが、1968年以降の「プラハの春」から「チェコ事件」、更にはビロード革命、チェコスロバキア体制の転換、チェコとスロバキアの分離等々国情の不安定下での活動、ドイツ再統一を経ての日独交流とは異なり、その一端を知り得たことは大変に有意義でした。ドイツ文学者である三谷会長のチェコ/スロバキアとの関わり、チェコとスロバキアの分離による協会名をめぐる議論等々興味深い多くのお話を伺うことができました。また、インターネットによる情報収集とコロナ禍により問われている協会の在り方等の課題・問題点を共有していることから、今後とも両協会の連携を確認しました。

その後会場を大学内の独文共同研究室に移し懇談会が行われ、チェコワインを堪能させていただきました。

神戸日独協会では、交流対象がドイツ(語圏)からEU圏へと拡大し、ドイツ(語圏)理解も一国ではなくその周辺国との関係理解が不可欠になってきましたので、今後ともドイツ(語圏)周辺国の各協会・機関・団体との交流を積極的に持ちたいと思います。

留学体験記

森 翔一郎(神戸大学大学院生)

2024年の10月から2025年の9月までの1年間、ドイツのミュンヘンにある、ミュンヘン工科大学へ交換留学に行ってきました。

神戸日独協会との出逢いは、渡航前に遡ります。ドイツ語の勉強をしたいと思い、短期留学の際からお世話になっている神戸大学の林教授に相談したところ、協会をご紹介いただきました。当時、私は授業や研究で予定が詰まっており、既存の開講時間では参加が難しい状況でしたが、枘田先生が特別に時間を調整して授業を開いてくださりました。大変お忙しい中ご対応いただき、熱心に指導していただいたことに心から感謝しています。文法を一通り学んだ後は、会話練習としてクーセギ先生にも大変お世話になりました。ドイツ渡航後は基本的に英語で授業を履修していたため、日常のコミュニケーションは英語が中心でしたが、大学のドイツ語授業を履修したり、ドイツ人とのタンデムや買物の際など、様々な場面でドイツ語を使う機会がありました。

この1年間を一言で表すなら「人生のモラトリウム」これに尽きると思います。何かに追われることなく自由な時間を過ごせたのは、人生で初めての経験でした。

その象徴が旅行でした。1年間で15カ国を訪れました。オーロラを見るためにノルウェーへ行ったり、海鮮の存在しないミュンヘンから抜け出してスペインやイタリアで海の幸を楽しんだり、数えきれないほどの経験をしました。中でも特に印象に残っているのが、ポルトガルのポルトです。まずは、ご飯が本当に美味しい。海鮮料理はもちろん、エッグタルトは人生で1番の美味しさでした。そして何より魅力的だったのは、ポルトを流れるゆったりとした時間です。日本では、どこへ行ってもスーツ姿の人が足早に歩いており、常に「急がなくては」という空気が漂っています。一方でポルトには、そんな慌たしさがありませんでした。川沿いでのんびりとビールやワインを楽しむ人々、橋から川に飛び込む少年、落ち着いた音楽を奏でるストリートミュージシャン、丘を登って夕焼けを眺める人々。みんなが自分の時間を存分に満喫していました。必ずもう一度訪れ、あの優雅な時の流れに身を任せたいと思っています。

こうした経験を重ねる中で、私は「留学の意義」について深く考えるようになりました。もちろん海外の大学で最先端の知を学ぶことは大切ですが、本質は別のところにあるのではないかと感じています。私にとって留学とは、「これまでの人生で培ってきた自分の人間性と向き合う機会」でした。日本で築いた人間関係を一度すべて置いて、自分を誰も知らない環境に飛び込む。その中で、自分のどんな部分に人は魅力を感じ、どんな部分を好んで付き合ってくれるのか。そういった「人としての自分」を見つめ直す時間でした。

日本にいたままでは出会えなかった海外の学生、さらには志の高い日本人学生との出会いは何よりの財産でした。異なる環境にいらながらも優秀で刺激的な人々と友人となり、意見を交わしたことで、自分の狭い世界観を大きく広げてくれました。一方で、今までの友人関係の大切さにも気づかされました。SNSのおかげでつながり続けられたこと、こまめに連絡をくれた友人、さらには何十万円もの高額な費用をかけてミュンヘンまで会いに来てくれた友人の存在は、本当にありがたく

心強いものでした。

また、海外で生活する中で、日本の良さにも気づかされました。ミュンヘンは治安が良く、人々も親切で、1年間快適に暮らすことができましたが、長期的な生活を考えると日本の環境の優れた点が改めて際立ちました。便座の普及、トイレットペーパーを流せるトイレ、無料の公衆トイレ、安全な水道水、無料で提供される美味しい水、整った医療制度、街の清潔さ。これらはヨーロッパには必ずしも当たり前ではなく、日本の生活の質の高さを痛感しました。また、自分が「アジア人」、「日本人」として見られる初めての経験でもありました。差別の存在を肌で感じる場面もあった一方で、「日本人」と伝ええると多くの人が日本や日本人に対して非常に好意的な印象を抱いていることもわかりました。

同時に、これほど豊かな日本がなぜ周囲の国々に遅れを取っているのかも痛感した一年でした。今まで実感したことはなかったのですが、日本はあまりに島国的であり、自国にしか関心がない、あるいは自国にすら無関心な人が多いと感じます。世界の人々は常に戦争や紛争と隣り合わせであり、陸続きであるがゆえに隣国との関係にも敏感で、政治や国際情勢に常にアンテナを張っています。私の外国人の友人たちは皆それぞれが政治観を持ち、日本の政治や歴史について意見を求めてきました。しかし私は語れるほどの知識を持ち合わせていませんでした。これは私個人の課題であると同時に、多くの日本人大学生にも共通する問題だと思っています。本当に危機感を覚えました。多くの学生がこの状況を知り、少なくとも自国の政治や歴史について学びを深める必要があると思います。そして今後、日本が世界で生き残っていくためには、これにとどまらず、世界中の動向に目を向け、積極的に島の外へ出て挑戦してほしい、私は強くそう願っています。

こうした経験を経て、ヨーロッパを留学先に選んで良かったと心から思います。様々な文化背景を持つ人々が混ざり合う環境、そして世界中から優秀な学生が集まるミュンヘン工科大学という場に身を置いたことは、私にとってかけがえのない経験でした。旅行を通じて現地を直接訪れ、肌で見て、感じ、学びを深められたことも大きいです。この1年の留学を通じて、私は世界を知ると同時に、自分自身を知ることができたのだと思います。

最後になりますが、林先生、柘田先生を始め、本当に多くの方々のご支援のおかげで素晴らしい一年を過ごすことができました。皆様に感謝申し上げます。

※このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。1000字程度(字数を厳守)のMSPゴシック12ポイントのWordデータを第4月曜日までにメールでお送りください。

ワインイベント

11月から「ワインイベント」を復活しました。奇数月に定期的に、神戸リガッタ倶楽部レストランを会場に、低額の会費で、4種類前後のドイツワインを楽しみ、時にはドイツワイン専門家の教えを受け、ドイツワインについての思いや情報を交換し、会員相互の交流を深める会です。

1月もドイツ商事ローテ・ローゼさんご推奨のワインを楽しみます。

パンは用意しますが、好きなおつまみを各自ご持参いただければ、幸いです。

日 時：1月15日(木) 18:00～20:00

場 所：神戸リガッタ倶楽部レストラン

参加費：3500円

定 員：15名。会員のみならず家族や友人をお誘いの上ご参加ください。

※ 切：1月13日(火)

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

1月は、Oh wie bist du schön、Der fröhliche Wanderer (愉快地に歩けば)、So ein Tag, so wunderschön wie heute を歌います。

講 師：岩島佳子さん

日 時：1月10日(土)14:30～16:00

場 所：神戸日独協会

参 加 費：2000円

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひご参加ください。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。

講 師：堀田真美子さん

日 時：1月25日(日)14:00～16:00

場 所：神戸日独協会

会 費：1500円(材料費+お茶代)

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申 込：1月23日(金)

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

第253回 ドイツ語談話室

日 時 : 2025年11月15日(土) 14:00~16:00

場 所 : 神戸日独協会

テーマ : ペット

今回の司会は川見正之氏が担当され、まず今回のテーマであるペットについて、日本の家庭で飼われているペットのトップ5を紹介された。1位:犬、2位:猫、3位:小魚、4位:カメ、5位:小鳥、だそう。ご自身はインコを飼っておられたが、残念なことに7年目に亡くなってしまったとのこと。

今回新しく参加された方があったので、自己紹介していただいた。

次に、参加者の皆さんの発言を一部下記に紹介する。

- わが家ではペットを飼っていないが、農業を営んでいる叔父宅には犬がいて、とても可愛い。
- ヤモリはペットではないが、縁起の良い小動物で、火災から家を守ってくれる。
- 小鳥を連れて新幹線に乗ったときの失敗談だが、かごから抜け出て車内を飛び回り、往生したことを思い出す。
- 長年飼っていた犬が少しずつ弱ってきて、14年目に命を落としてしまった時は、本当につらい思いをした。
- 近年の研究によると、ペットが飼い主の健康に寄与してストレスを減らし、免疫システムを強化し、病気になるリスクを減らすそう。
- ペットは、単に飼い主の精神的な健康のみでなく、身体的な健康にも寄与する。これはWHOが推奨する運動の目標にもかなうことである。
- 統計によると、ドイツには3160万匹のペットが飼われており、44%の家庭がペットを飼っている。最も好まれているペットは、猫、犬、モルモット、ハムスター、うさぎ、などであるそう。
- 近年都会では集合住宅が多くなり、ペットの飼育は原則として禁止されることが多い。それでも近所を散策していると犬を散歩させている飼い主をよく見かけるが、殆どは小型犬である。

今後のドイツ語談話室の予定

第254回 2025年12月20日(土) テーマ : 2025年を振り返って

第255回 2026年1月17日(土) テーマ : お正月の過ごし方、今と昔

Protokoll der 253. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit : Samstag, 18. Oktober 2025, 14 bis 16 Uhr

Thema : Wie wir abhängig vom Internet sind

Dieses Mal hatte Herr Matsuura die Gesprächsleitung und fragte die Teilnehmerinnen
Dieses Mal führte Herr Masayuki Kawami durch das Gespräch und berichtete von der Haustierhaltung in Japan. Die beliebtesten Haustiere sind an erster Stelle Hunde, gefolgt von Katzen, Zierfischen und Schildkröten. An fünfter Stelle kommen die Vögel. Der Gesprächsleiter selbst hatte einen Sittich, der leider mit sieben Jahren gestorben ist.

Zur diesmaligen Gesprächsrunde kam ein neuer Teilnehmer, der sich am Beginn allen vorstellte.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-Eine Teilnehmerin hat selbst kein Haustier, ihr Onkel aber betreibt einen Bauernhof und hat dort einen Hund, der absolut bezaubernd ist.

-Geckos sind zwar keine Haustiere, sie gelten jedoch als glücksbringend und man sagt, dass sie die Häuser vor Feuer schützen.

-Ein Teilnehmer erzählte von einem Missgeschick. Als er einen kleinen Vogel im Shinkansen mitnahm, entkam dieser aus seinem Käfig und flog im Wagen herum, was für ziemliche Aufregung sorgte.

-Ein anderer Teilnehmer erzählte von seinem Hund. Es war für ihn herzerreißend, als dieser im Alter von 14 Jahren allmählich schwächer wurde und schließlich starb.

Jüngste Forschungsergebnisse deuten darauf hin, dass Haustiere zur Gesundheit ihrer Besitzerinnen und Besitzer beitragen, da sie Stress reduzierten, das Immunsystem stärkten und somit Krankheitsrisiken senkten.

-Haustiere tragen also zum physischen wie zum psychischen Wohlbefinden bei. Das Spaziergehen mit Hunden steht auch im Einklang mit den von der WHO empfohlenen Bewegungszielen.

-Laut Statistik gibt es in Deutschland 31.6 Millionen Haustiere, verteilt auf 44% der Haushalte. Die beliebtesten Haustiere sind Katzen, Hunde, Meerschweinchen, Hamster und Kaninchen.

-In den letzten Jahren sind in japanischen Städten Mehrfamilienhäuser immer häufiger geworden. In der Regel ist dort die Haltung von Haustieren verboten. Dennoch sieht man beim Spaziergang durch die Nachbarschaft oft Besitzer, die mit ihren Hunden Gassi gehen, wobei es sich aber meist um kleinere Rassen handelt.

Nächste Treffen:

Samstag, 20. Dezember 2025, 14 bis 16 Uhr. Thema: Jahresrückblick 2025

Samstag, 17. Januar 2026, 14 bis 16 Uhr. Thema: Wie verbringt man heutzutage das Neujahrsfest? Wie war es früher?

1月の企画委員会

1月は定例通り開催いたしますので、ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。ご出席いただける方はなるべく事前にご連絡ください。当日参加も可。

日 時 : 2026年1月10日(土) 15:00~17:00

場 所 : 神戸リガッタ倶楽部

話 題 : 2026年4月までの事業計画

年末年始について

12月26日(金)から1月7日(水)まで事務室は閉室します。

※閉室期間中、催し等のお申込み・お問合せはFAX・メールでお願いいたします。

Das Büro der JDG Kobe ist von 26. Dezember bis zum 7. Januar geschlossen.

会報ボランティア

次回の印刷・封入・発送は、定例日が年末ですので1月22日(木)に変更します。

印刷・封入・発送とも11時より神戸日独協会にて行います(13時頃終了予定)。

お手伝いいただける方は事前にご連絡ください(078-230-8150)。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは覧いただけます。

	<p>ホームページ Homepage</p>		<p>インスタグラム Instagram</p>		<p>X Twitter</p>
--	----------------------------	--	------------------------------	--	----------------------

イベントスケジュール

日 時	催 し	会 場	申込×切
12月20日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
1月10日(土) 10:30~14:30	「歌う人のためのドイツ語 ー発音・発声・フレージング」	神戸日独協会	1月8日(木)
1月10日(土) 14:30~16:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可
1月10日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸リガッタ倶楽部	当日参加可
1月15日(木) 18:00~20:00	ワインアーベント	神戸リガッタ倶楽部	1月13日(火)
1月17日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可